

## 令和3年第7回木島平村教育委員会定例会会議録

1 開催日時 令和3年7月30日(金) 15:30～17:06

2 場 所 木島平村役場 議員控室

3 出 席 教 育 長 小林 弘  
教育長職務代理者 佐藤 秀雄  
委 員 本山三智子  
委 員 月岡 英彦  
委 員 佐藤小百合

4 出席した事務局職員

子育て支援課長 島崎かおり  
生涯学習課長 高木 良男  
子育て支援係長 武田 幸一  
生涯学習係長 湯本 邦浩

## 1 開 会 午後3時30分

## 2 前回会議録朗読承認（署名）

令和3年6月25日開催の木島平村教育委員会第6回定例会会議録を島崎子育て支援課長が朗読し、出席委員全員が内容を確認のうえ、全員が承認し署名した。

## 3 教育長報告

### （1）7月7日の保育園定例会時に指示した事項から

○発達や学びをつなぎ「学びの改革」を実現する（長野県教育委員会信州幼児教育支援センターR3.3.31発行）から、自身の保育を振り返ること。

○昨年度作成した土砂災害に係る緊急避難マニュアルの中で、非常時における判断条件に「立ヶ花水位観測所の水位が7.5m超えが予想される」を加えたこと。7/21付で「防災気象情報が出された時の対応について」保護者あてに通知をしたこと。また、どこへ避難することが一番安全か、最善の安全確保に努めること等保育園長及び園長補佐に指示した事項について報告説明した。

### （2）7月12日の校長園長会時に指示した事項から

○昨年度、教育委員会で作成した「防災気象情報をもとにとるべき行動について」教育施設、保育園におけるマニュアルを改めた。

○6月28日中高地区教育委員会連絡協議会と中野下高井校長会との懇談会における「職員の連携にかかわって」の提案レポート発表から、先生方を育てるうえで校長のマネジメントがよくできていると感じた。

○「ICTという新たな道具立てについて」上智大学の教授によるとAIドリルが注目されているが、ICTの真価は「探求」や「創造」のツールとしての活用であること。個別最適化された学習形態の中で学びを通して、不透明なこれからの社会に逞しく生きていく能力を育む使い方を。

○オンライン授業における「著作権法」について2018年度に著作権法が改正され、2020年度のみデジタル教材に関する補償金は無償の特別措置となった。しかし、本年度2021年度からはオンライン授業で他人の著作物を使用するときは、学校設置者が補償金を支払わなければならないため予算の確保が必要である。

○アグネス・チャンさん（時報 市町村教育委員会から）の自らの子育ての中で、人と比べる必要はなく自分は価値ある人間で自分を好きになれること。子どもの好奇心を育て、何事にも興味を持てるようになること。子どもたちの違いを認めてそれぞれの得意分野を伸ばすこと。途中で転んでも立ち上がる強さ等、「教師こそ子どもたちを未来へ繋ぐ案内人である。」というメッセージを紹介した。

○ダイバーシティ&インクルージョンで社会を変える。(人種や性別、障がいなどに左右されることなくあらゆる人を尊重することを意味している。)「スターバックスコーヒーnonowa国立店」は、従業員同士が手話でコミュニケーションをとるサイニングストアとして、日本で初めてオープンした。誰もが自分の居場所を感じられるような環境づくりを目指している企業の取組みを紹介した。  
他、指示した事項について報告説明をした。

#### 4 協 議

##### (1)令和2年度事業実績及び主要施策の成果について

小林教育長

協議事項の(1)令和2年度事業実績及び主要施策の成果についてという事をお願いいたします。

○資料1に基づき、令和2年度事業実績及び主要施策の成果について説明。

島崎課長

9月議会に向けて、令和2年度の決算という事で昨日まで村の監査委員による決算審査が行われました。この決算に基づき、9月の議会において決算の認定をいただくという事になります。決算の説明については、決算審査のときもそうですが、事業実績及び主要施策の成果、本日お配りした資料に基づいて説明をしておりますのでお願いします。説明につきましては、子育て支援課に係る部分は武田係長から、生涯学習課に係る部分は湯本係長からそれぞれご説明申し上げますのでお願いいたします。

武田係長

○子育て支援課に係る令和2年度事業実績及び主要施策の成果について説明(一般会計)。

小林教育長

それでは、子育て支援課から説明のありました範囲の中でご質問等ありましたらお願いをいたします。

(特段質問無し)

後で総括的なところで質問がありましたら、お願いいたします

す。それでは、引き続き生涯学習課からお願いします。

高木課長

補足説明ですが、村全体の執行額は44億円です。そのうち、教育費が2億9千万円でそのうち、今、説明があった子育て支援課については、1億7千万円。生涯学習課については、1億1千500万円です。概略ですが、ご理解いただければと思います。

湯本係長

○生涯学習課に係る令和2年度事業実績及び主要施策の成果について説明

小林教育長

ありがとうございました。それでは、生涯学習課についてご質問ありましたらお願いいたします。

(特段質問無し)

全体とおして質問ありましたらお願いいたします。

(特段質問無し)

島崎課長

すみません、子育て支援課の特別会計2本について説明させていただいてよろしいですか。

小林教育長

説明をお願いします。

武田係長

○学校給食特別会計と奨学資金貸付事業特別会計に係る令和2年度事業実績及び主要施策の成果について説明

小林教育長

今の説明を含めまして、全ての説明についてご質問ありましたらお願いいたします。

本山委員

今、説明していただいた学校給食の件で、よその市町村に行って学校給食を食べさせていただいたときに、木島平村は安いんだなという実感があります。よその市町村は1食あたり300円いくらしっかりとっていらっしゃるから、木島平のおいしい給食を維持するためには、多少上げてもし方がないのではないかという気持ちがとてもあります。というのは、コロナがあってお家の人たちがお昼を維持するのに、大変な思いをしてい

る。そういうことを考えても、やっぱり安心安全な学校給食がちゃんと提供してもらえる、その食材も村のを使っているというのをPRする意味もあるし、ありがたみがあるからこそ、お金を多少保護者が出しても子どもがたちの成長のためにも、情操の面でもそうですが、村はこれだけ頑張っているというのを子どもや親に維持してもらおうという方向で、多少上げてもいいのではないかという気がします。利用者負担だから、保育費は無料になっているし、いろいろな意味で国や県や村で保障されているからこそ、自分たちも自分の子どものためになら多少お金を払ってもいいのではないかという気がします。なんでも「安ければいい」という感覚ではいけないような気がして、最後に書いてある「年ごとの上昇により給食費の見直しが必要な時期」というのはだいぶ前から感じてはいましたので、この際、コロナの影響もあって食事って大事だという事を感じてらっしゃるからこそ、この時期に上げてもたぶんお家の人たちも納得してくださる気がするので、是非そういう方向でもいいのではないかなと思います。それと、納入する農家さんの高齢化が進んでいるのもわかりますので、農家さんに声がけする機会があればいいと思います。今までやったきたおじいちゃん、おばあちゃんが頑張っておられますが、少しは若い人にも声をかけて生産者の幅を広げるなり、協力を求める姿勢も大事な気がします。新たな人を募集する働きかけをすれば、農家さんの中には、協力してくださる人たちが見つかると思いますので、是非そういう機会や働きかけの場を考えていただければいいと思います。

小林教育長

今、2点について話がありましたが、最初の方の「見直しの必要な時期」についてはどんなふうに考えていますか。もう一つ後半の地産地消の給食食材の調達面でどうでしょうか。

武田係長

実際、学校給食センターの栄養士からも牛乳の単価が上がったという事も聞いておりますし、高齢化により食材の安定供給ができていないこともあったり、その場合はスーパーでの購入になってしまうという事で、やはり今の単価を維持するのが厳しいと聞いておりますので、今後そのあたりを検討していきたいと考えております。また、生産者の件ですが、去年はコロナの関係で皆さんに集まっていたくことできませんでしたが、

令和元年に一度会議を持ち、実際集まっていたいただいた生産者は20人かけておりました。高齢化もありますので、生産農家にも声がけをして協力を求めていくことを考えていきたいと思えます。

小林教育長

見通しとしては、例えば令和3年度に給食費の見直しについて検討をする時期、そしていつぐらいから上げるというのがありますね。本年度見直しを検討して、来年度からとか、来年度しっかり検討して令和5年度からやるのか。その辺の見通しのスケジュールは今のところ持っていないというところでしょうか。

武田係長

今年、児童数など分析しながら検討に入る必要があると考えております。

島崎課長

給食費の見直しとなるとかなり大きな計画となります。データ分析や保護者への理解、説明が必要になりますので、ある程度計画性を持ち段階を踏みながら進めていかなくてはならないと思っております。今のところ、はっきりした計画は決まっておりますが近々、動き出して行かないとらないと考えております。

小林教育長

その辺のスケジュール的なところもそろそろ考えて行くことが、ひとつの目安になってくるかと思えます。他にいかがでしょうか。

佐藤職務代理者

217ページの家庭児童相談事業がありますね。下の課題のところに、「現在は1名の家庭児童相談員が保健師や民生課担当職員と連携して業務にあたっているが負担が大きい。今後は増員の必要があると思われる。」と書いてありますが、毎回各学校の様子とかいろいろ出てきますが、家庭的には段々複雑になって対応が大変になってきているんだという事は重々わかります。各学校の担任の先生方もいろいろな子どもを抱えているので、家庭との対応は大変だと思います。今、1人という事ですが、他の市町村では不登校対応の支援員が入ったり、いろいろな対応の仕方をしてはいますが、ここは小中一律ですので、役場の担当という形になってはいますが、小学校に1人、中学校に1

人いてもいいくらいな対応が必要だと思います。是非、増員をお願いして各家庭と担任の先生や他の関係機とつないでいくということで、是非お願いしたいという要望です。

小林教育長

その辺はどうですか。

武田係長

近隣の状況や体制等を参考にしながら、前向きに検討していきたいと思います。

小林教育長

会計年度任用職員という事で、フルタイムではなくて1週間に3日とか、そういう形でも。雇用形態がいろいろありますのでその辺をつきつめながら結論はここでは出ませんが、要望ということでもあります。他にいかがでしょうか。

(特段質問無し)

小林教育長

ありがとうございました。これで承認をいただいたという事でよろしいでしょうか。

(全員承認)

ありがとうございます。

## (2) 行事等の共催後援の承認について

小林教育長

それでは、(2)の行事等の共催後援の承認についてお願いします。

島崎課長

○資料2に基づき、行事等の共催後援の承認について説明。

- ・申請者：アド・コマーシャル株式会社  
伊那市西春近3010-1

小林教育長

- ・行事等の名称：「わたしたちの街の社会見学 北信濃版 2022年度版」冊子作成・寄贈
- ・日時：2022年4月発行予定
- ・内容：村内の小学校へ寄贈

これは、毎年きておりまして、今、一冊見本を回しておりますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。北信地域の主な会社の概要、そしてまた、このような仕事があるという事で無料で4、5年生全員に配布をするという毎年の申出であります。よろしいでしょうか。

(特段質問無し)

ありがとうございます。

## 5 報 告

### (1) 保育園及び小中学校の状況

島崎子育て支援課長が、資料3と資料3-1に基づき保育園及び小中学校の状況について報告した。

### (2) 行事等の共催後援の承認について

- ・島崎子育て支援課長が、資料4に基づき第41回志賀高原夏期大学開催に伴う後援(申請者：中野・下高井教育会)と木島平納涼絵画展 in くら(申請者：木島平村芸術文化協会)の後援について、開催日程の関係で教育長専決により後援承諾した旨説明した。

### (3) その他

- ・島崎子育て支援課長が、今年度のコミュニテ・スクール研修会について説明した。

## 6 その他

### (1) 当面の日程(諸行事・会議等)

- ・島崎子育て支援課長が、当面する諸行事・会議等について説明した。
- ・島崎子育て支援課長が、令和3年第8回教育委員会定例会の開催日程について提案した。全委員が了承し、「令和3年第8回木島平村教育委員会定例会を令和3年8月3



25日(水)午後3時30分から」開催することに決定した。

- ・村内6団体親善球技大会(マレットゴルフ)が10月13日(水)予定されている旨説明した。

(2) その他

- ・島崎子育て支援課長が、資料5に基づき野沢温泉村教育委員の異動報告について、山ノ内町教育委員会教育長及び教育委員の異動報告について説明をした。
- ・島崎子育て支援課長が、資料6に基づき令和3年度関東甲信越静市町村教育委員会連絡会総会の議決結果について報告した。
- ・島崎子育て支援課長が、資料7に基づき第64回長野県市町村教育委員会研修総会の開催方法について説明した。

7 閉 会 午後5時6分

小林教育長が閉会を宣言した。